取付・取扱説明書

ポステック　CSP-11型

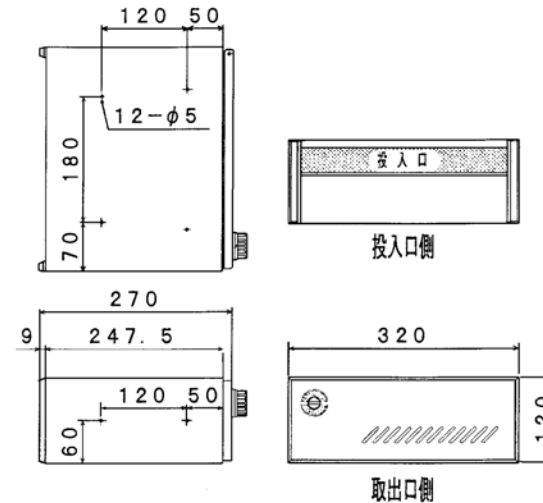
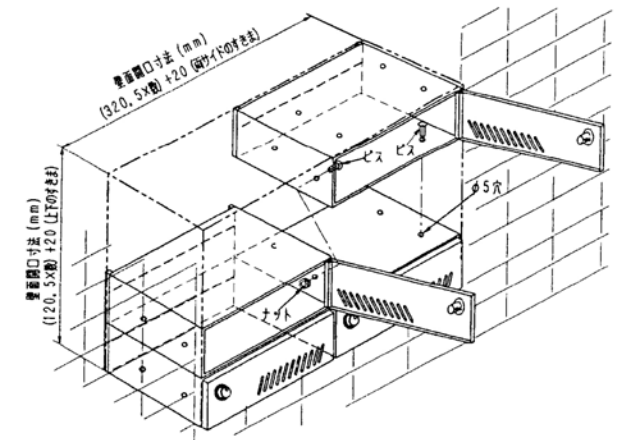
　この度は、ポステック　CSP-11型をお買い上げいただき、ありがとうございました。
　この商品を末永くご愛用していただくために、この取付・取扱説明書をお読みいただき、正しい取付けと取扱いをしていただきますようお願い致します。
　尚、この説明書はお読みになった後、必ず保管して下さい。

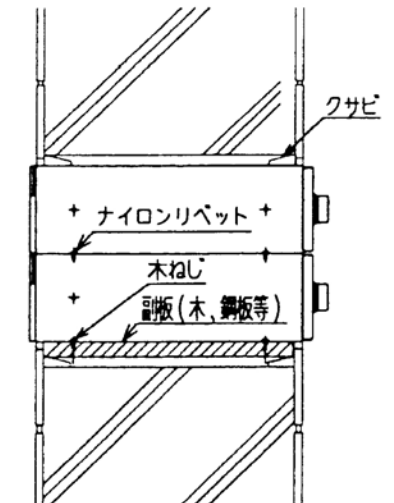
住宅関連製品総合メーカー
株式会社ダイケン

本社　〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号
電話 (06) 6392-5321 (代表)

東京支店	(03)3633-6551 (代)	神奈川営業所	(045)316-3901 (代)
大阪支店	(06)6392-5556 (代)	静岡営業所	(054)237-5375 (代)
札幌支店	(011)232-3017 (代)	名古屋営業所	(0586)77-7561 (代)
盛岡営業所	(019)637-8241 (代)	岡山営業所	(086)297-9100 (代)
仙台営業所	(022)235-4380 (代)	広島営業所	(082)294-9181 (代)
埼玉営業所	(048)667-9381 (代)	福岡営業所	(092)935-9731 (代)
千葉営業所	(043)489-1481 (代)	東京西出張所	(042)567-1338 (代)

取付説明

本体寸法図

壁面開口寸法

取付方法

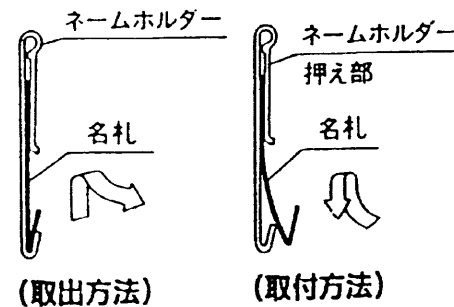
1. 取付開口底部に副板等を取付け、水平を出します。
2. 副板にポスト本体を載せ、木ねじ又はタッピンねじで固定します。
3. 左右のポスト本体をナイロンリベットで固定し、順次副板にも木ねじ又はタッピンねじで固定します。
4. 上下左右の隙間と、本体に「ねじれ」が生じないよう、又扉の開閉に支障がないよう調整しながら順次積み重ね。ポスト本体同士をナイロンリベットですべて固定します。
5. 上部両端の角部をくさび等で固定し、躯体とポストの隙間をモルタル等で埋めます。

●注意事項

1. 内、外装工事中は製品をシート等で保護してください。
　(チリ、ホコリ等で製品に支障をきたすことがあります。)
2. ポスト本体をまわり縁に直接溶接しないでください。
3. 本書は必ず本体内に入れておいてください。
　本体内の説明書、シール等はなくさない様ご注意ください。
4. 工事中は安全のため保護手袋、安全帽を着用してください。
5. 当製品は屋内仕様です。屋外では使用できません。

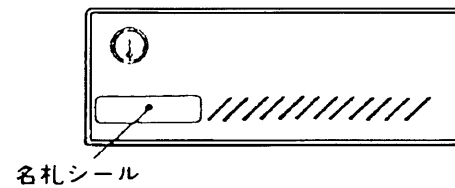
取 扱 説 明

ネームホルダーの名札取付けについて

［取出方法］
・扉を開け樹脂製ネームホルダーの裏側から、名札の折返し部分を図の矢印方向へ引き出して下さい。
・お名前（部屋番号）はマジック、マーカー等で名札に書いて下さい。

［取付方法］
・取付けるときは、名札の上部からネームホルダーの押さえ部へ図の方法で差込んで下さい。

取出側名札シール

取出側名札シールの取扱いについて

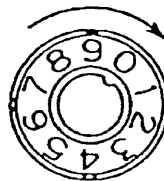
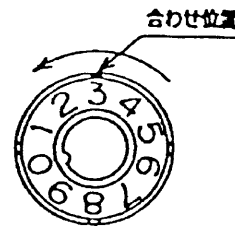
・名札シール（本体袋内の銀のシール）に油性サインペンで名前を書いて貼り付けて下さい。

ダイヤル錠について

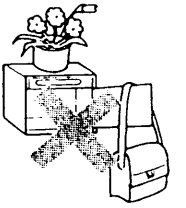
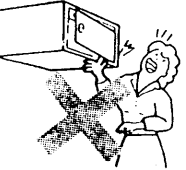
・解錠シールに従って、番号を合わせツマミを引けば扉は開きます。

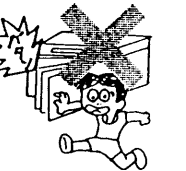
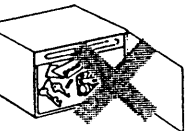
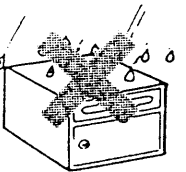
左へ２回３、右へ１回９

〔開ける場合〕
例えば、解錠シール番号が 左へ２回３、右へ１回９ の場合。
①ダイヤルを左回りで2回転させて親番号の3に合わせる。
②次に右へ戻して子番号９に合わせて、ダイヤルを手前に引けば扉は開きます。

〔施錠する場合〕
扉を閉めた後、必ずどちらかに１回転以上ツマミを回して下さい。
(注意) １回転以上ツマミを回さないと、扉がそのまま開くことがあります。

解錠シールは、扉のネームプレート内に２枚付いています。それを取り外して1枚は管理人に渡して下さい。解錠もう１枚は個人用として保管して下さい。

注 意 事 項

(１) 扉にぶら下がったり、重い物を載せないでください。
扉の破損、本体のひずみを生じる恐れがあります。

(２) 投函物を取り出す際は、扉での指づめにご注意ください。

(３) 投函物を取り出した後は、扉を確実に閉めてください。
頭などをぶつける恐れがあります。
完全に施錠されていないと投函物を投入したとき、
勝手に開放することがあります。

(４) 扉の開閉はゆっくりと静かに行ってください。
扉の破損や錠の故障の原因になります。

(５) 貴重品の保管には適しておりませんので重要書類、
鍵などは入れないでください。
盗難などには対応できません。

(６) 商品は屋内仕様です。屋外でのご使用はできません。
雨水がかかる場所では中に水が侵入します。

お 手 入 れ

・ステンレスは他の金属に比べると耐久性に優れており、錆びにくい性質を持った金属ですが、絶対に錆びない金属ではないためお手入れをしてください。
・普通のヨゴレは柔らかい布に水を湿らせて拭いてください。
・特に汚れのひどい時は、水溶性の中性洗剤を布に付け軽く拭き取ってください。
・タワシ、磨き粉、シンナー等の使用は変色、キズの原因となるため使用しないでください。